

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

2023年 6 月 30 日

茨城県知事 大井川 和彦殿



提出者
住 所 〒305-0817
茨城県つくば市研究学園5丁目1-4 高谷ビル2階
氏 名 住友不動産株式会社
新築そっくりさん事業本部 北関東信越事業所
戸建茨城エリア統括 小松 徹也
電 話 029-849-0601

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、 2022 年度の産業廃棄物
処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	住友不動産株式会社 新築そっくりさん事業本部 北関東信越事業所 戸建茨城エリア
事業場の所在地	茨城県つくば市研究学園5丁目1-4 高谷ビル2階
事業の種類	建設業 総合工事業(0661)
産業廃棄物処理計画における計画期間	2022年4月1日 ～ 2023年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	2790.09t	全処理委託量	2790.09t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0t	優良認定処理業者への処理委託量	2604.81t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0t	再生利用業者への処理委託量	185.28t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0t	認定熱回収業者への処理委託量	0t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t

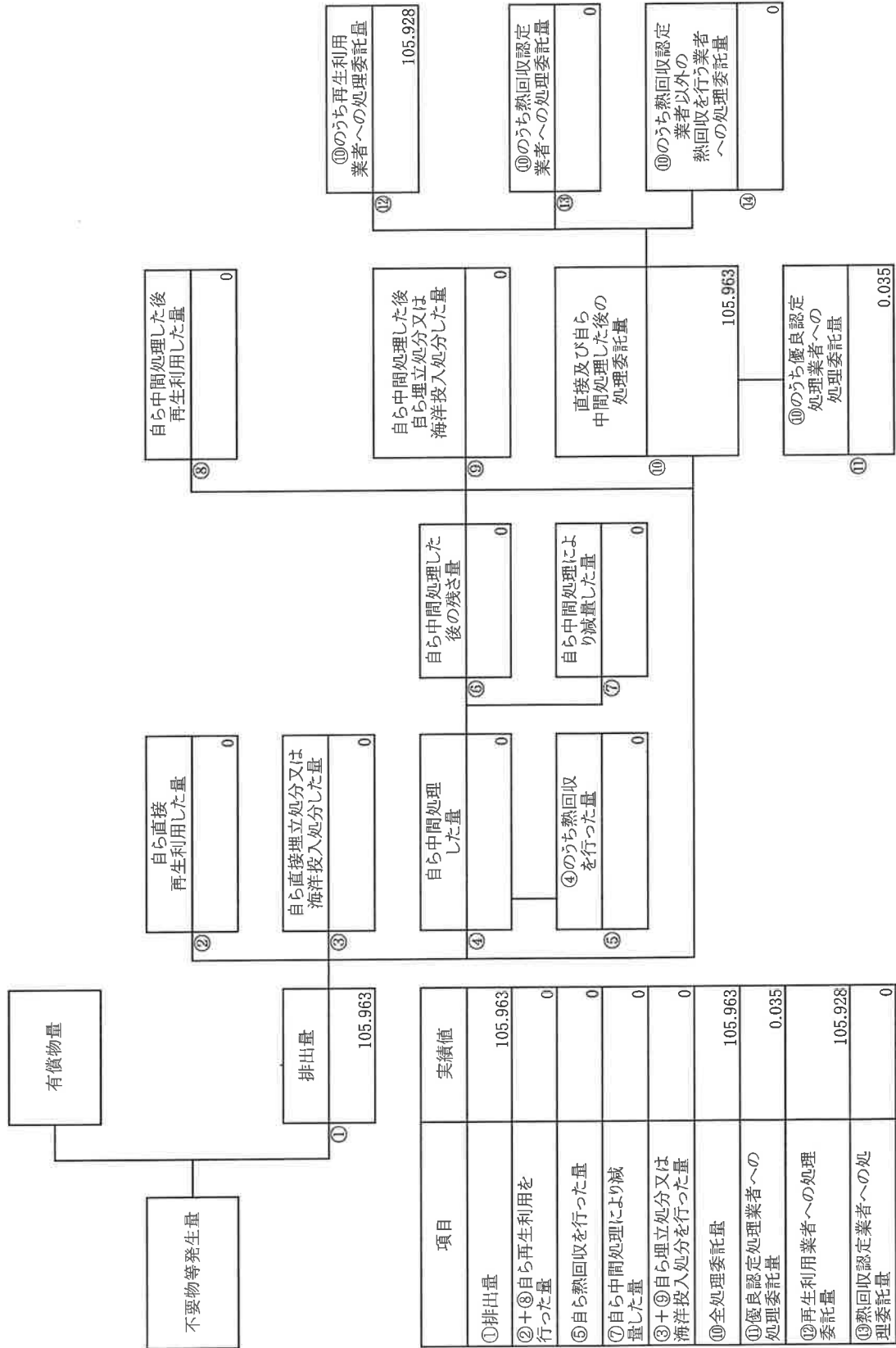
※事務処理欄	
--------	--

産業廃棄物処理計画実施状況報告書の〔第 2

名 称	①排出量		⑩直接及び自ら 自己処理した後の 処理委託量 (t)	⑪優良認定処理業者 への処理委託量(t)	⑫再生利用業者への 処理委託量(t)	⑬熱回収認定業者 への処理委託量(t)	⑭熱回収認定業者以外の 熱回収業者への処理委託量(t)
	当該事業場において 生じた産業廃棄物の 種類ごとの量	(t)					
産業廃棄物の種類							
廃プラスチック	105.963		105.963	0.035	105.928		
紙くず	40.02		40.02	0	40.020		
木くず	839.303		839.303	99.605	739.698		
繊維くず	14.762		14.762	0.336	14.426		
金属くず	128.255		128.255	0.000	128.255		
ガラス陶磁器等くず	501.860		501.86	3.5	498.360		
がれき類	517.985		517.985	12.136	505.849		
安定型建設混合廃棄物	0.052		0.052	0.052	0.000		
管理型混合廃棄物	257.576		257.576	257.576	0.000		
石綿含有産業廃棄物	29.935		29.935	0	0.000		
合計	2435.711		2435.711	403.175	2032.536	0	0

計画の実施状況

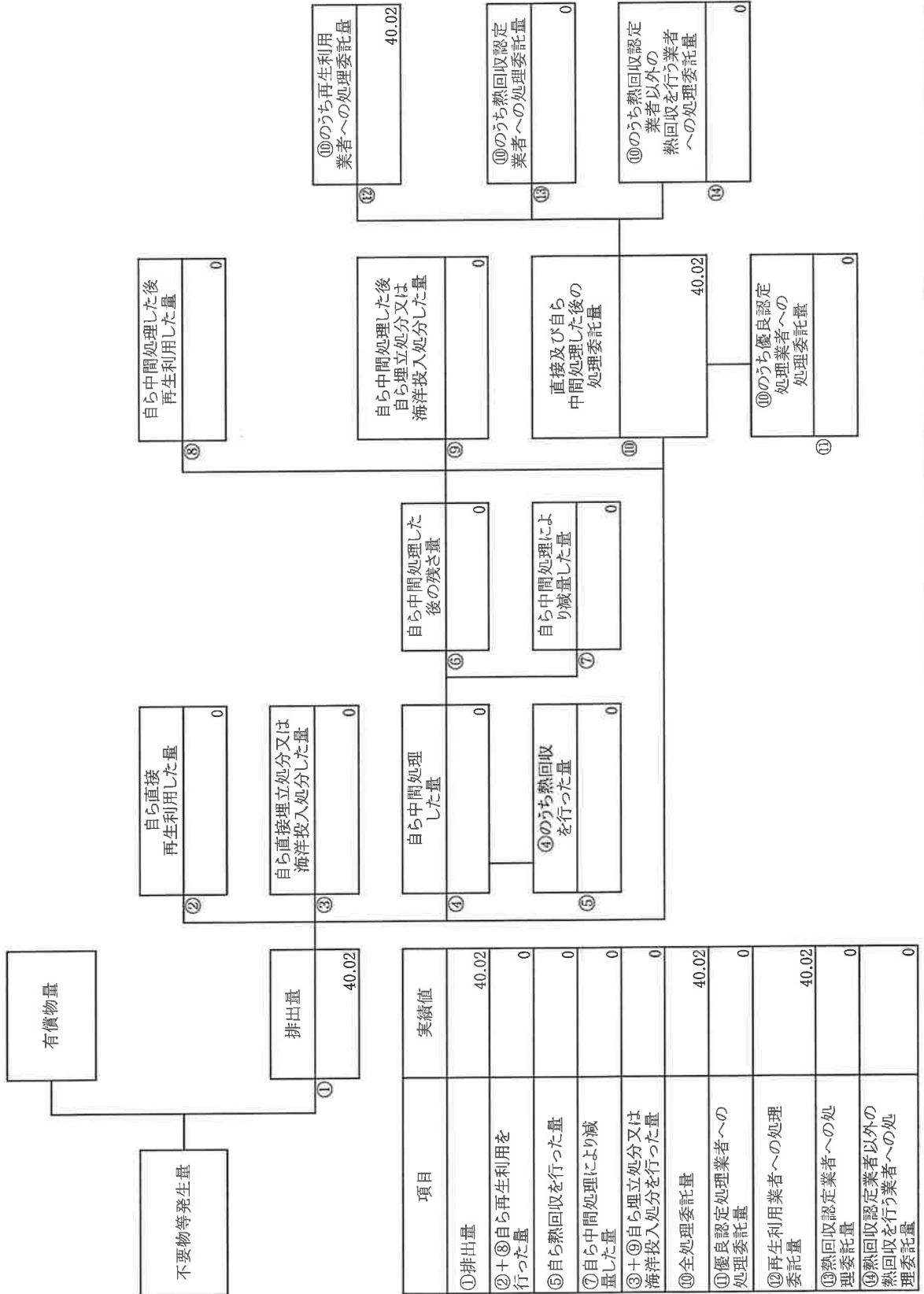
(産業廃棄物の種類：廃プラスチック)



項目	実績値
①排出量	105.963
②+③自ら再生利用を行なった量	0
⑤自ら熱回収を行なった量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑤自ら埋入処分又は海洋投入処分を行なった量	0
⑩全処理委託量	105.963
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.035
⑫再生利用業者への処理委託量	105.928
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

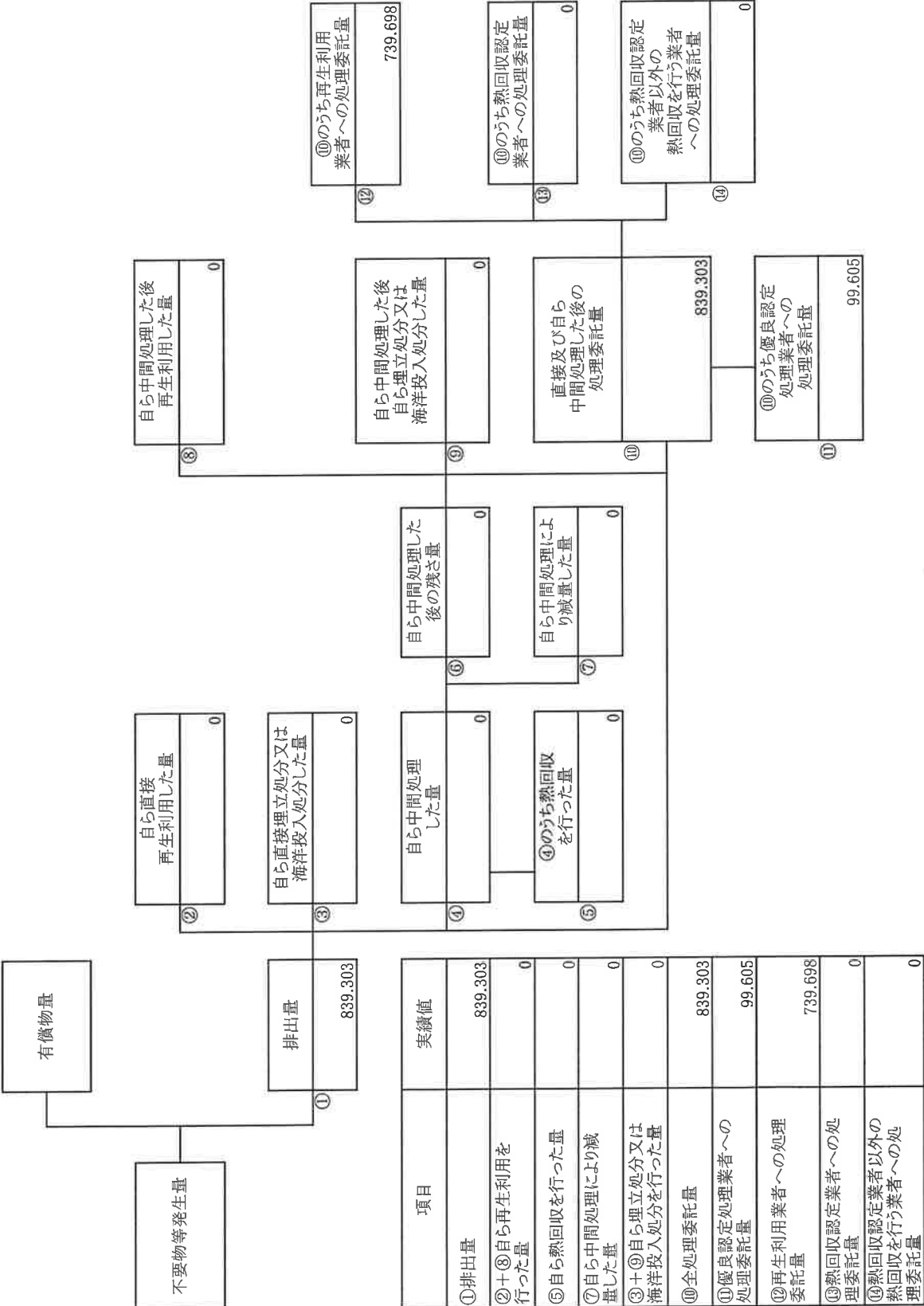
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：紙くず)



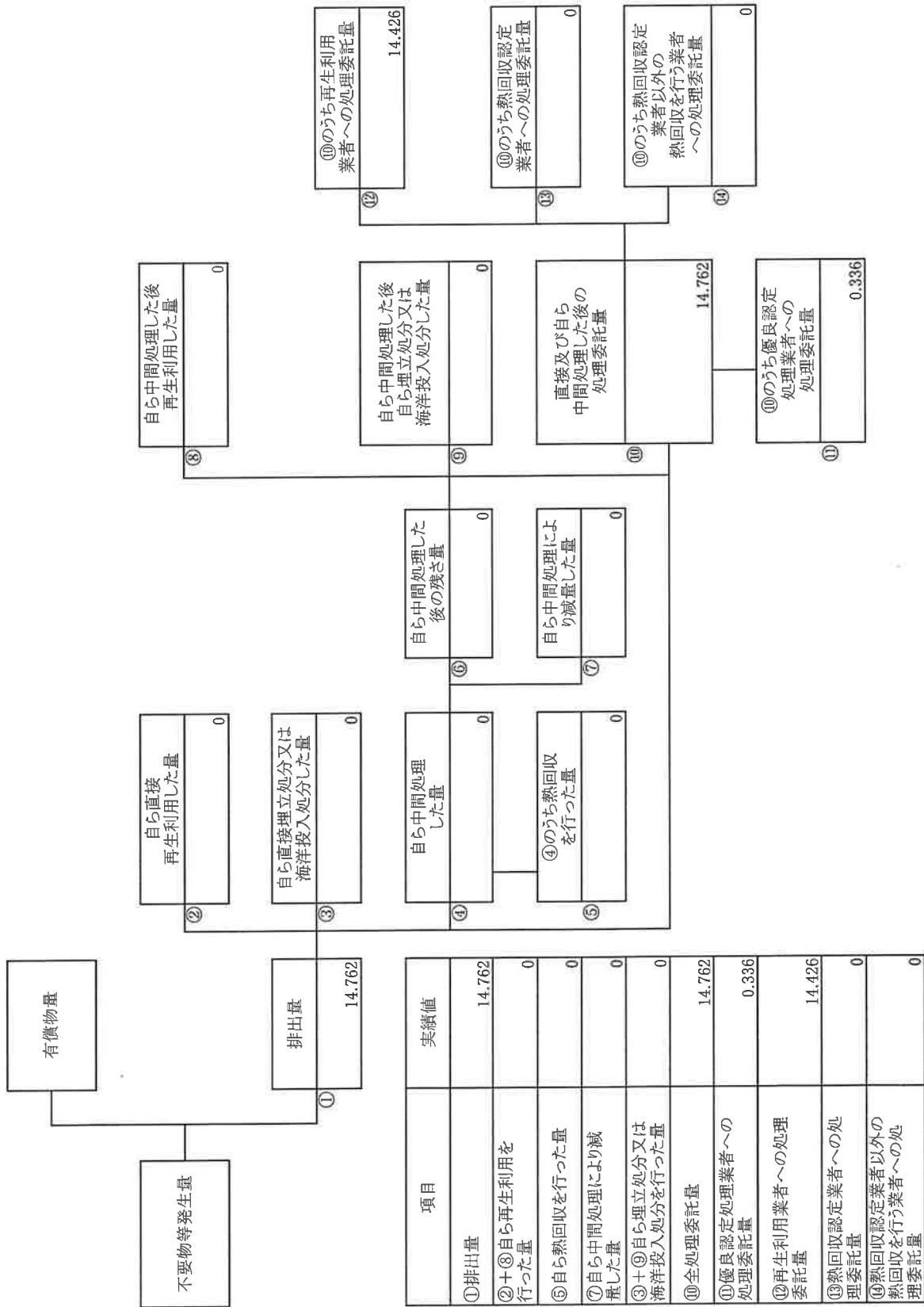
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 木くず)



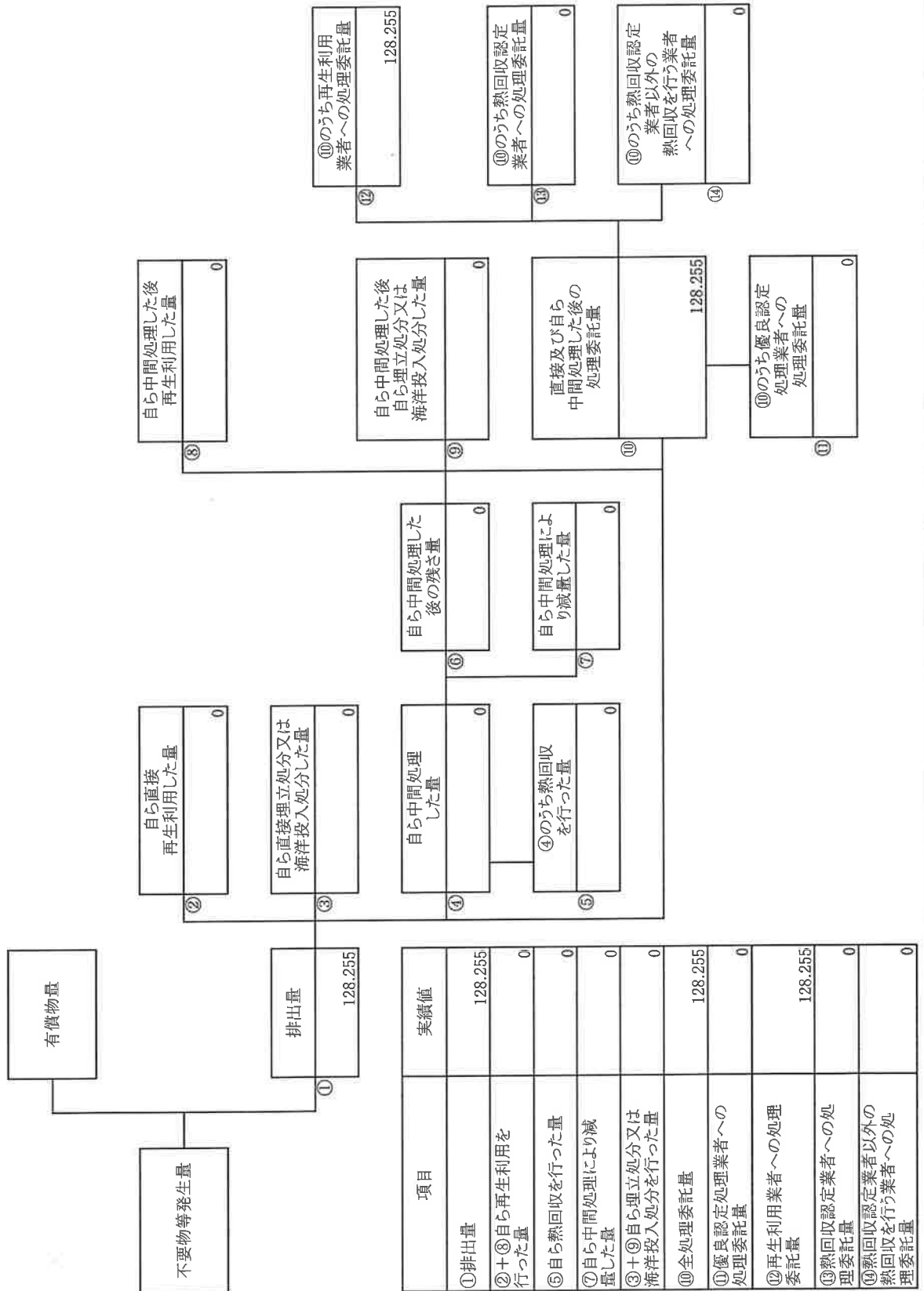
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：繊維くず)



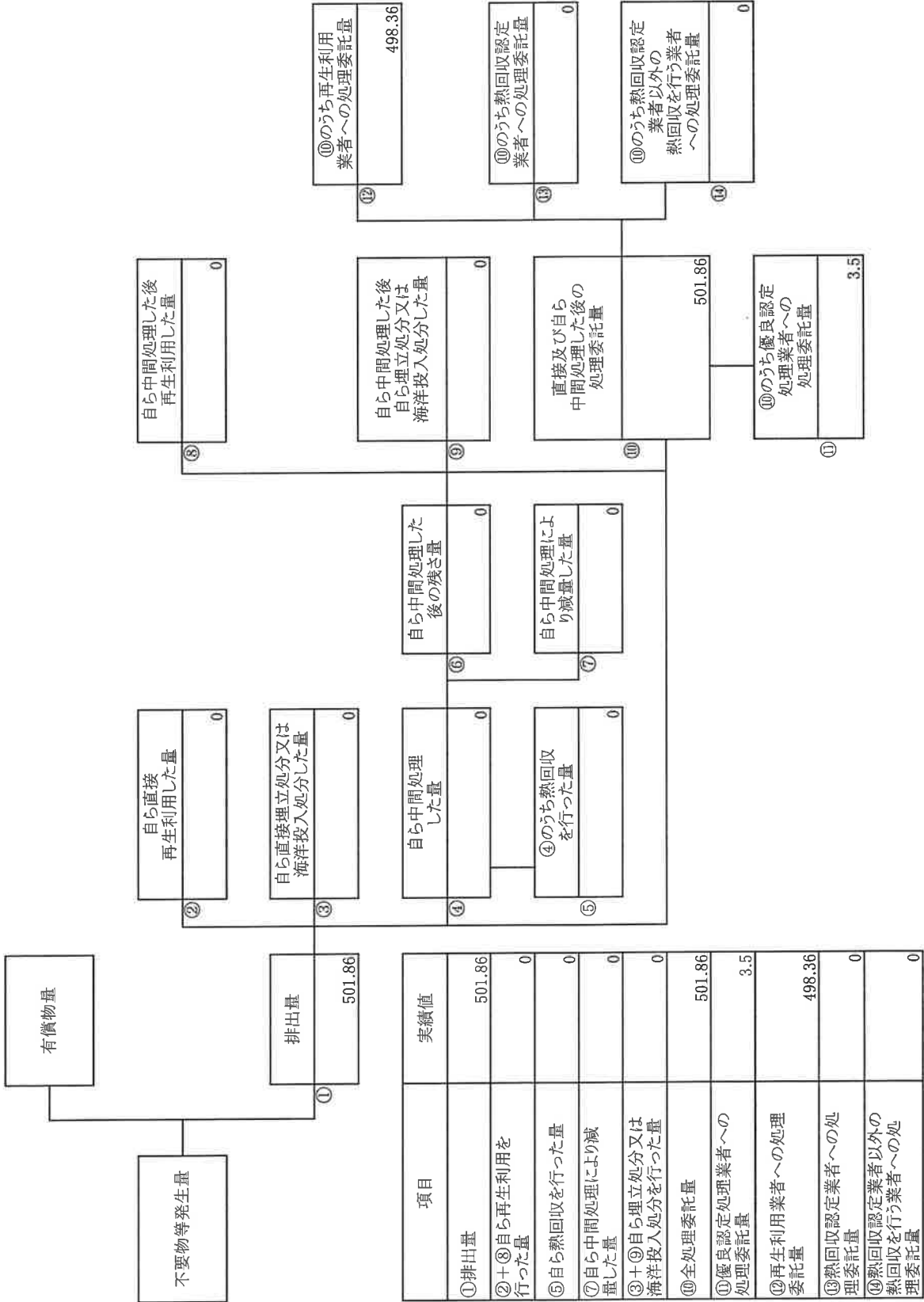
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：金属くず)



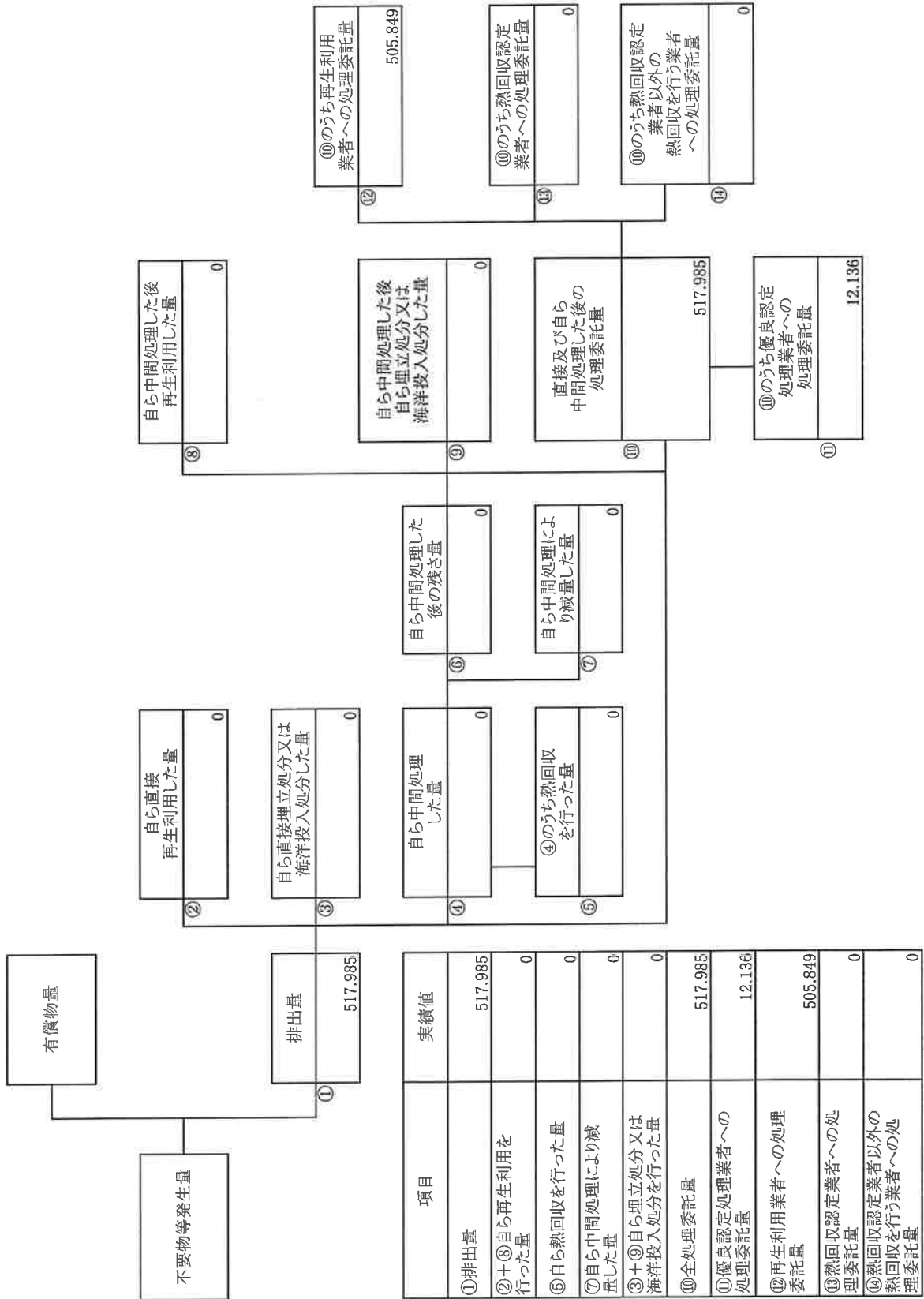
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：ガラス陶磁器等くず)



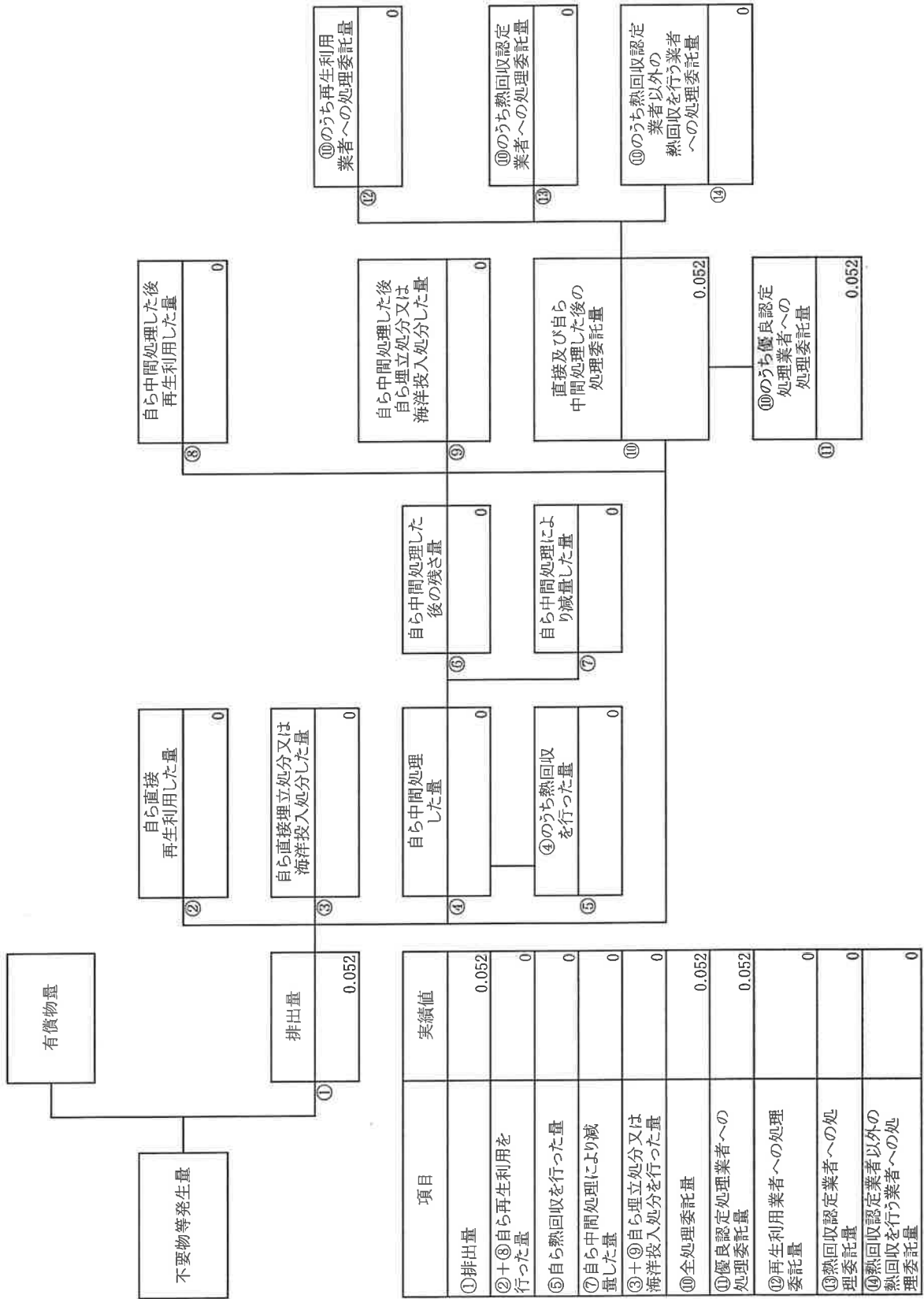
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：がれき類)



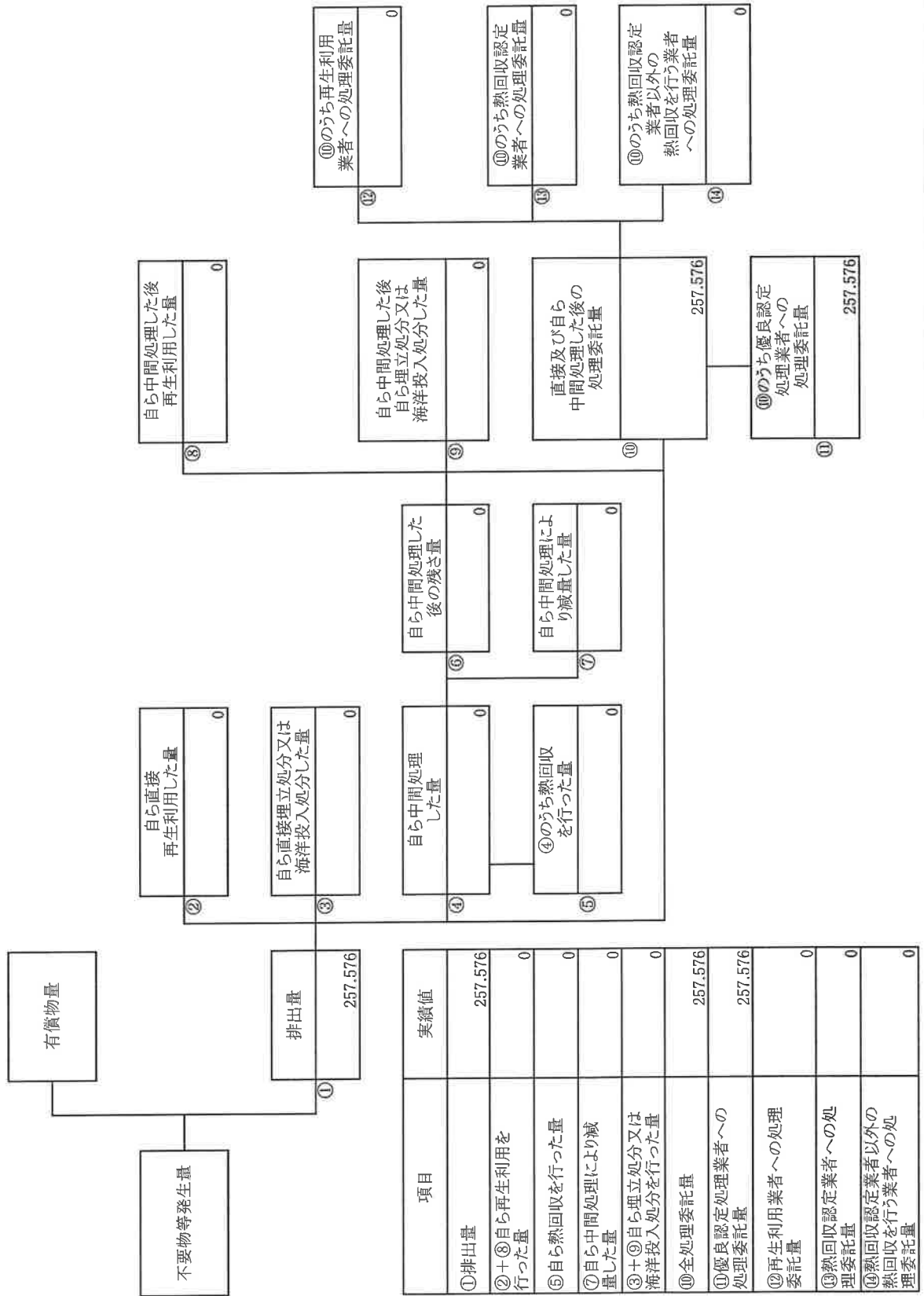
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：安定型建設混合廃棄物)



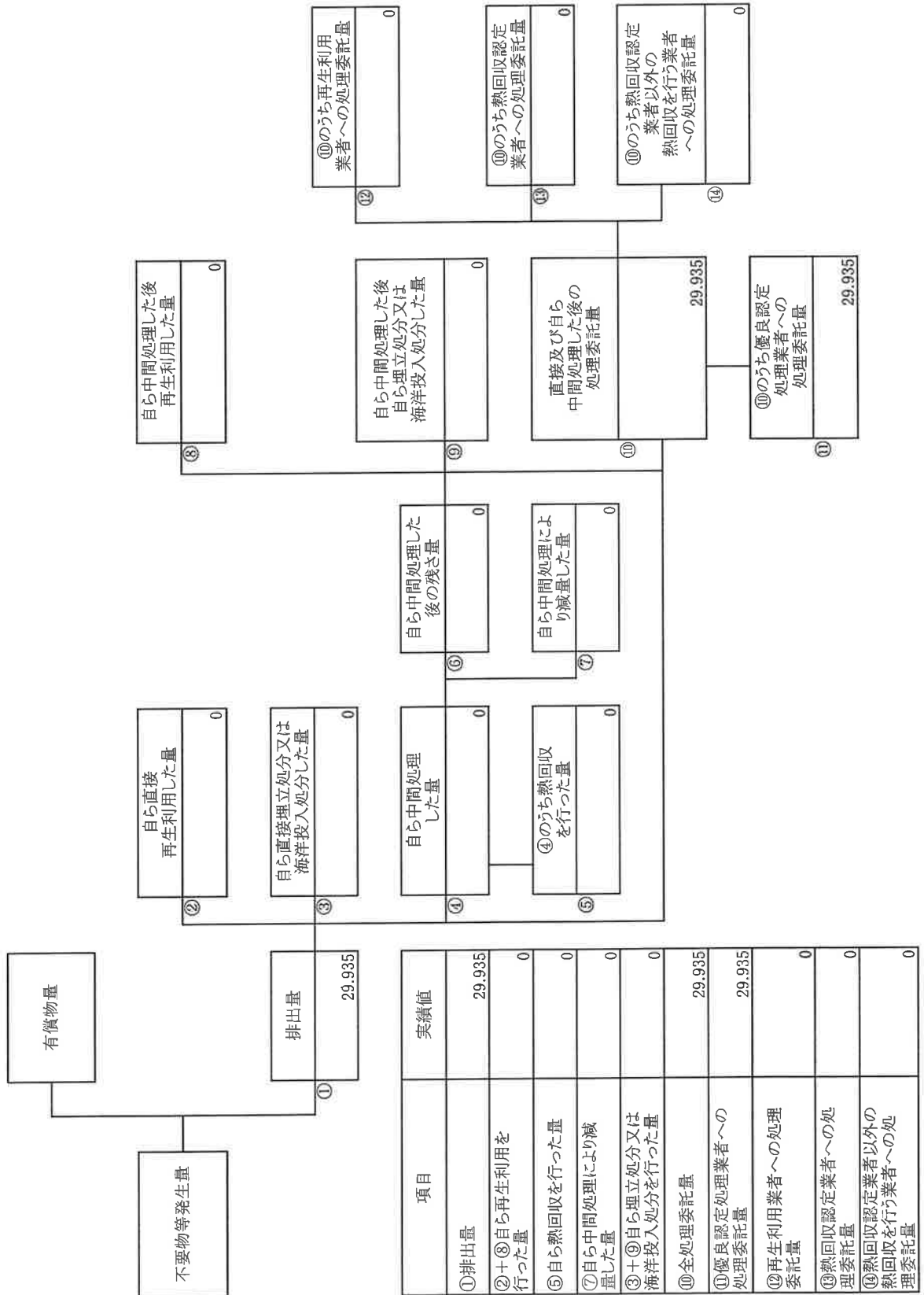
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：管理型混合廃棄物)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：石綿含有産業廃棄物)



備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄には、何も記入しないこと。